

# 「池波正太郎を読む」

## ～その作品世界の魅力～

池波正太郎の作品といえば、江戸情緒の数々を盛り込んで読者を魅了し、時代小説の読者層の拡張に大きく貢献した『鬼平犯科帳』『剣客商売』『仕掛人・藤枝梅安』の三大シリーズがまず想起されます。今も読み継がれている人気シリーズですが、池波作品はこれだけではありません。信州の真田家に題材を取った真田ものはじめ、戦国武将もの、剣豪もの、忍者もの、幕末維新もの、現代ものなど幅広いジャンルに及んでいます。東京・浅草に生まれ育った池波正太郎の人生の軌跡をたどり、小説とエッセイの魅力を検証していきます。

日時：平成30年5月24日（木）

13時30分～15時30分（受付：13時より）

場所：所沢まちづくりセンター中央公民館 ホール

所沢市元町27番5号（電話番号 2926-9355）

講師：文芸評論家 清原 康正先生



文芸評論家、日本ペンクラブ常務理事、日本文藝家協会会員（編纂委員）、  
県立神奈川近代文学館専務理事、日中文化交流協会会員  
朝日カルチャー・東急セミナーの小説教室や調布市民カルチャーの歴史と文学講座、各地での歴史講座や小説・エッセイ教室などの講師を務める。  
主著に『中山義秀の生涯』『山本周五郎のことば』『歴史小説の人生ノート』  
『小説を書きたい人の本』など  
共著に『昭和文学の風景』『まげもののぞき眼鏡—大衆文学の世界』など  
編解说到『作家の自伝 池波正太郎』『歴史小説名作館・全12巻』など

参加費：無料 事前の参加申込みは不要、直接会場にお越しください。

主催：所沢まちづくりセンター中央公民館

協力：サークル「漆の実」（文学愛好者による中央公民館登録団体）

### 池波 正太郎（1923-1990）

東京・浅草生まれ、下谷・西町小学校を卒業後、茅場町の株式仲買店に勤める。戦後、東京都の職員となり、下谷区役所に勤務  
長谷川伸の門下に入り、新国劇の脚本演出を担当  
1960年『錯乱』で直木賞受賞、1986年紫綬褒章受章  
急性白血病により67歳で永眠。没後、勲三等瑞宝章受章  
台東区立中央図書館内に「池波正太郎記念文庫」、長野県上田市に「池波正太郎真田太平記館」がある

